

5. 甲信越（地域別調査機関：株式会社日本経済研究所）

（－：回答が存在しない、＊：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
家計 動向 関連 (甲信越)	◎	高級レストラン（経営者）	・海外での新型コロナウイルスオミクロン株の感染ピークアウトが早そうなので、国内でも感染が収束してくれば急速な景気回復が望める。
	◎	その他サービス〔葬祭業〕（経営者）	・以前は、新型コロナウイルスを理由に葬儀の規模を小さくしたが、今では当たり前のようになり小規模になっている。こういう時代が来ると思ってはいたが、子どもが少ないので数人で送るという時代が、じきにやってくる。
	○	商店街（代表者）	・新型コロナウイルスの感染状況も、春先の3月頃になれば落ち着くのではないかと期待して、今よりも良くなるというつもりで一生懸命やっている。
	○	商店街（代表者）	・新型コロナウイルスオミクロン株の収束を祈りつつ、当地の古刹の祭礼等や観光イベントが続くので、期待したい。
	○	一般小売店〔薬〕（経営者）	・新型コロナウイルスの収束が図られるため、やや良くなる。
	○	百貨店（店長）	・現在、新型コロナウイルスのため、催事の中止等も出ている。先を予想することは非常に難しいが、治療薬などに期待していること、2か月くらい経てば、新型コロナウイルスオミクロン株のピークも過ぎるのではないかと期待しての、予想である。
	○	スーパー（経営者）	・3か月後には、新型コロナウイルスオミクロン株の新規感染者が減っていると思うので、3回目のワクチン接種が進むことで、人が動いてもらいたい。
	○	コンビニ（経営者）	・新型コロナウイルスが落ち着き、春めいて多少暖かい日も出てくる頃なので、来客数も伸びるのではないかと。
	○	自動車備品販売店（従業員）	・新型コロナウイルスの感染拡大がピークアウトし、来客数も増え始め、やや良くなるのではないかと。
	○	スナック（経営者）	・今後、新型コロナウイルスオミクロン株がどうなるか分からないが、現在、まん延防止等重点措置が適用中で、時短営業をせざるを得ない状況にあり、ほとんど客が来ない。2～3か月後になれば、さすがに落ち着くとは思っているので、多少は良くなると思うが、何ともいえない。
	○	観光型旅館（経営者）	・現在の新型コロナウイルス感染拡大が収まれば、次第に動きが出てくると考える。ただし、皆が慎重に行動するので、急激に回復することは望めそうにない。現状が最低なので、今よりはやや回復する。
	○	都市型ホテル（スタッフ）	・新型コロナウイルス禍は、感染状況さえ落ち着けば、今後は回復傾向に向かうことは間違いない。全てが感染状況次第で、時短営業等の要請がなければプラスに向かう。2～3か月先に感染状況が落ち着いていること、若しくはインフルエンザ等と同じ扱いになっていることを願うばかりである。
	○	通信会社（社員）	・サービス提供エリアの拡大や新入学シーズンの到来で、少なからず直近よりは動きが出そうである。客単価を上げる施策がこれまでに以上に必要になる。
	○	観光名所（職員）	・当県にもまん延防止等重点措置が適用されることとなり、2月下旬までは自粛による不況に見舞われる。ただし、新型コロナウイルスオミクロン株の重症化リスクも低いことから、今後の感染収束に期待するしかない。
	○	遊園地（職員）	・引き続き、新型コロナウイルスの影響が懸念されるものの、感染症対策を徹底し、万全な受入体制を整えるとともに、積極的な集客施策の実施や情報発信を行うことで、多くの客の来園を期待する。
	□	一般小売店〔家電〕（経営者）	・新型コロナウイルス騒動が落ち着くまで、なかなか客の購買意欲や動きは回復しない。
	□	スーパー（経営者）	・新型コロナウイルス感染拡大第6波が急激だが、日常生活は維持されており、ふだんの買物に変化は見られない。
	□	コンビニ（店長）	・客は、土日でも余り出てこなくなっており、近所でまとめ買いする傾向が出てきたようで、客の来店の波が大分変わってきている。ただし、トータルで厳しい状態は、今までと余り変わらずに推移していく。
□	衣料品専門店（経営者）	・新型コロナウイルス変異株が収束し始めたと思っていたら、今度は新型コロナウイルスオミクロン株になっており、さらに違う株も出てくるかもしれないとなると、いつまで続くか分からない。	

□	家電量販店（店長）	・新型コロナウイルスの終息と政府の景気対策が必要である。
□	乗用車販売店（経営者）	・半導体不足の解消が見通せない状況で、新車供給遅れが続くと思われる。
□	一般レストラン（経営者）	・もうここまで来ると、全く先ことは分からない。3か月先に新型コロナウイルスの感染拡大第7波が来ていてもおかしくはない。
□	スナック（経営者）	・売上が全くないので、現状よりは下がることはない。新型コロナウイルス禍を終わらせるための出口戦略を早く作って実行して欲しい。本当にお願いしたい。
□	スナック（経営者）	・変わらないと回答したが、今の悪い状況のまま変わらないという意味である。本当に地方は困っている。
□	都市型ホテル（スタッフ）	・新型コロナウイルスの感染拡大がいつ収束するのか、全く先が見通せない。客の動きがびたりと止まっており、もうどうにもならない状況である。
□	通信会社（経営者）	・物価上昇が続いており、今後節約志向が強まってくれば他の世代にも波及し、更に節約傾向が増していく。
□	その他サービス〔クリーニング〕（経営者）	・政府には1日も早い新型コロナウイルスの3回目のワクチン接種をお願いしたい。早く、今までのような生活を取り戻したい。
□	住宅販売会社（経営者）	・新型コロナウイルスの流行や大地震への懸念等から、地方への移住希望は依然として多い。
▲	一般小売店〔家電〕（経営者）	・新入学、新生活に伴う売上を期待したいが、商材不足や各種値上げが騒がれているなかで、思うような売上は見込めない。
▲	百貨店（営業担当）	・現在は新型コロナウイルスオミクロン株の感染拡大中で、まだピークになっていないと思うので、これから先どのような形になっていくか分からない。まだ景気が上向きようなイメージはできない。
▲	スーパー（店長）	・食品の物価上昇が引き金となって、景気はやや悪くなる。
▲	コンビニ（経営者）	・当県でも毎日、何百人も新型コロナウイルスの感染者が出ている。周りの学校や保育園でも感染者が発生して休校や休園になったりしている。いつ店の従業員にうつるか分からない状態で、従業員が2人以上感染すると、店を閉めなければいけなくなるので、心配である。客も本当にひっそりとしている。
▲	コンビニ（経営者）	・まん延防止等重点措置適用のためか、来客数が減少しているものの、客単価は上昇している。
▲	コンビニ（経営者）	・現在、来客数が減っており、まん延防止等重点措置の適用や緊急事態宣言等の発出があれば、更に外出する人が減る。1人の客がコンビニで買う点数にも限りがあるので、伸び悩む。
▲	コンビニ（エリア担当）	・新型コロナウイルスの感染状況が収まりそうにないため、やや悪くなる。
▲	一般レストラン（経営者）	・新型コロナウイルスの感染ピークを迎えて、更に乗り越える見込みがみえそうにない。
▲	旅行代理店（副支店長）	・新型コロナウイルスの感染状況次第で、景気が大きく左右される。収束に向かう兆しがあれば、まん延防止等重点措置により抑えられていた人流も緩和され、旅行需要も先が見えてくるだろうが、現状では、3か月先は読めない。
▲	タクシー運転手	・正月から1月10日頃まではやや良い状態だったが、それ以降、新型コロナウイルスの感染拡大で、段々悪くなってきている。おそらく、前年比110%くらいで終わる。
▲	ゴルフ場（経営者）	・プライマリーバランスの改善に主眼を置いている間は、景気浮揚は望めないのではないか。
▲	設計事務所（経営者）	・実施設計に入る物件が少ない。
×	商店街（代表者）	・新型コロナウイルスが収まらない限り、無理である。
×	その他専門店〔酒〕（店長）	・誰がいつ新型コロナウイルスに感染してもおかしくない状況で、今までとは全く違う局面である。非常に軽症の人も多いと聞くが、これだけ周りに感染者が出てくると、地方でも飲食店を閉めるところが増えてくる。このほか物価やガソリン価格も高騰している。世界情勢も厳しく、非常に不安定な状況に入っている。2～3か月先は全く見当も付かない。
×	都市型ホテル（従業員）	・2月20日まで全国の約2/3の地域がまん延防止等重点措置期間となるため、悪くなる。
×	その他レジャー施設〔ボウリング場〕（経営者）	・新型コロナウイルスの感染再拡大の最中である。また自粛ムードになれば、感染拡大が収束しない限り、良くなることはない。

企業 動向 関連 (甲信越)	◎	金属製品製造業（総務担当）	・半導体不足により、受注が増加している。	
	○	電気機械器具製造業（経営者）	・春の新生活に向けた売上に期待するが、新型コロナウイルスの影響で、小売店への客足が鈍ることが不安要素である。	
	○	建設業（経営者）	・資材価格の安定化や、新型コロナウイルス禍の沈静化を期待している。	
	○	金融業（経営企画担当）	・ここにきて、まん延防止等重点措置を要請する都道府県が増えており、向こう1か月は外出自粛等でやや悪いと思われる。ただし、新型コロナウイルスオミクロン株の感染拡大は早期にピークアウトすると考えているので、感染状況が落ち着いてくれば、経済活動も活発になる。	
	□	食料品製造業（総務担当）	・新型コロナウイルスの感染状況次第である。	
	□	窯業・土石製品製造業（経営者）	・予想が全く立たない。取引先の都内新店舗が開店し、販売に期待したいところだが、現状では明るい見通しになるかも分からない。SNSでのPRの評価は高くても、受注にはつながっていない。	
	□	電気機械器具製造業（営業担当）	・部品の供給不足が続いており、営業活動、生産に支障が出ている。	
	▲	食料品製造業（営業統括）	・感染が急拡大した新型コロナウイルスの影響が、当分の間は避けられず、更に諸物価の高騰等が重なって、経営環境はますます苦しくなる。	
	▲	出版・印刷・同関連産業（営業担当）	・新型コロナウイルスの影響がなくなってきたと思っていたが、ここに来て再び、当地でも爆発的に感染拡大してきている。イベントの中止等が出てきており、大変厳しい状況になってきている。	
	▲	電気機械器具製造業（経営者）	・電子部品の入荷に遅れが多く、原材料価格の高騰もあり、生産しにくい状況である。	
	▲	金融業（調査担当）	・製造業は新型コロナウイルスの感染拡大に伴うサプライチェーンへの影響や生産水準の低下、また、非製造業では消費者の行動自粛による需要減少が予想される。	
	▲	新聞販売店〔広告〕（総務担当）	・多くの都道府県でまん延防止等重点措置が適用され、経済活動はある程度維持されるものの、人や物の流れが停滞するのは必至である。	
	×	食料品製造業（製造担当）	・更なる資材価格の値上げがある。取引先に3月までに当社も値上げ要求依頼をしたいが、話がまとまるか、大変厳しい状況にある。	
	雇用 関連 (甲信越)	×	出版・印刷・同関連産業（経営者）	・新型コロナウイルス感染拡大の影響によるイベントの中止等で、ますます悪くなる。
		×	その他製造業〔宝石・貴金属〕（経営者）	・大型展示会終了後、出展企業から新型コロナウイルスの感染者が出るなどして、営業活動が制限された企業が何社も出ており、新型コロナウイルスオミクロン株の影響のすごさを目の当たりにしている。集客、採算面の不安を抱えながらも、売上を少しでも増やさなければ死活問題であり、催事を開かざるを得なくなっている。今後の見通しは立っていない。
◎		—	—	
○		民間職業紹介機関（経営者）	・新型コロナウイルスが落ち着けば、良くなっていく。まだ感染拡大のピークが見えず、企業は慎重な姿勢を保っている。	
□		人材派遣会社（営業担当）	・経済活動重視の新型コロナウイルス対策も必要だが、抜本的な対策にかじを切るべきではないか。	
▲		職業安定所（職員）	・新型コロナウイルス禍の収束ムードにあった年末から、これまで以上のペースでの拡大となった第6波の到来に、飲食店や宿泊業等のサービス業のダメージは大きい。	
▲		職業安定所（職員）	・新型コロナウイルスオミクロン株の影響により、やや悪くなる。	
▲	職業安定所（職員）	・新型コロナウイルスの感染状況が収束に向かわないため、悪くなる。		
×	—	—		